

医療施設、保育施設で 黄銅製品を導入

病気で免疫力が低下している患者さんが集まる病院、まだ免疫力が十分とは言えない子どもたちを預かる幼稚園や保育園などは、感染予防を配慮して、手洗いやうがい、消毒の徹底など、様々な工夫が行われている。そんな中、銅の抗菌・殺菌作用に注目し、銅部材を使って感染経路の遮断、菌の繁殖抑制などを実践する医療施設、保育施設が増えはじめています。

医療施設

社会医療法人
泉和会
千代田病院
(宮崎県日向市)



千代反田 晋 理事長

合計約一トン！大型総合病院として
世界最大規模の銅部材を導入



7月に開院した千代田病院

今年六月、宮崎県日向市にある「千代田病院」の新病院が完成し、地域住民はもちろん多くの医療関係者の注目を集めている。その理由は、病床数百九十八を備える大型総合病院では世界初となる大量の銅部材の採用にある。千代田病院は、昭和三十五年の開業以来、つねに



院内感染対策を進めたい

銅の殺菌力と感染予防

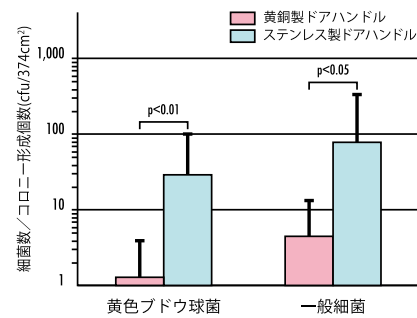
日向市周辺の医療発展に貢献し続けてきた。現在は、十九の診療科を持ち、一般病床百四十三床、重急性期病床十一床、医療療養病床四十四床、常勤医十九名、非常勤医三十名の体制で通常診療はもちろん、時間外救急にも可能な限りの対応を行い、他病院とも連携しながら日向市周辺での地域救急医療体制の充実に力を注いでいる。その実績により、平成二十一年には、宮崎県初の社会医療法人に認定された。

黄銅製のドアノブを二年間試験導入し 院内感染のリスク低減への手応えを得る

「私が銅の抗菌・殺菌作用に関心を抱いたのは、五年ほど前のことでした」と千代反田理事長は振り返る。その作用を新病院の院内感染対策に活かせないかと北里大学医学部の笹原武先生に相談。院内スタッフの理解を深めるため、銅による殺菌作用に関するセミナーを開催するとともに、二〇一〇年七月から「銅の抗菌・殺菌作用の実証実験」も実施した。院内のドアノブなど約二十箇所銅部材を試験的に導入し、定期的に細菌検査を行った。

「約二年間の検査により、銅製品導入による院内感染のリスク低減に手応えを得ました」と千代反田理事長。

●病院把手の細菌検査



※設置：2010年7月21日/2012年1月16日 (写真)



この実証実験結果を、同病院の切通(きずし)医師が第二十七回日本感染症学会で発表し、話題を集めた。

銅合金により交差感染伝搬経路を遮断

新病院では、ドアノブやハンドルなど計五百三十箇所以上約一トンの銅部材を導入。導入箇所は「患者さんが接触する経路を考え、そこに徹底して銅部材を取り入れて殺菌し、細菌の伝搬を遮断するようにしています」と千代反田理事長。また、設備面だけではなく、人の意識改善こそ重要なポイントと考えられている。

「院内感染対策としては一般的なことです。清掃による清浄度の改善、消毒による清潔環境の維持を徹底しています。例えば手洗いなどは基本中の基本でしょう。最も大切なのは、必ず徹底すること。全医師・看護師、職員には研修会などでつねに意識を高め、患者さんにもVTRなどでわかりやすく実践を呼びかけています」。

銅の殺菌力と感染予防に関する導入事例

福島第一原子力発電所から約四十キロにある『金谷幼稚園』は、他の幼稚園に先駆けて園庭の土を入れ替え、放射線量を基準値内におさめるなどの対応を行った。しかし、園児の外遊びの時間は一日三十分と大幅に制約することに。齋藤園長は「ご家庭でも外出を控えているため園児の体力は落ちてきていると思います。そのため

インフルエンザやノロウイルスなどの集団感染症が問題となる中、いま全国の教育・保育施設で衛生管理強化が急務となっている。日本銅センターは、二〇一〇年より銅を活用する安全・安心プロジェクトとして、様々な教育・保育施設に銅製品、黄銅製品などを提供。銅の殺菌作用を活かし、子どもたちの感染予防などに貢献している。今年二月には、放射線の対応に頭を悩ませる福島県いわき市内の二つの保育施設に銅製品を提供した。

放射線の影響で園児の外遊びを制限 そのため免疫力低下が心配に

保育施設

学校法人
志向学園
金谷幼稚園
(福島県いわき市)



齋藤英子園長



新病院の530箇所に黄銅製品を導入「人と環境の両面から

同市内にある『小島保育園』でも放射線対策に様々な工夫を行っている。「洗い残しが目に見える手洗いチェッカーや除菌水、大型の空気清浄機などを導入し、衛生管理に気を配っています。しかし、ガスなどが発生する塩素などの薬品は、体力の落ちた園児のことを考えると使

銅の抗菌・殺菌作用を園内の衛生管理に

保育施設

社会福祉法人
いわき福音協会
小島保育園
(福島県いわき市)



鎌倉富士夫園長

か昨秋におたふく風邪が流行った時、園児四十八人の内の十六人が感染してしまいました」と外で思い切り遊べなくなった園児の健康を心配する。金谷幼稚園が黄銅製品を導入した箇所は、蛇口や階段の手すり。今回の導入で「偶然かも知れませんが銅を導入してから、B型インフルエンザの流行がおさまってきた印象があります」と齋藤園長は話している。



水道の蛇口や階段の手すりに黄銅製品を導入。「お城の水道みたい」と子どもたちも大喜び

いづらい」と鎌倉園長は話す。小島保育園では蛇口、トイレのドアノブやプッシュプレートなどに黄銅製品を導入した。「塩素消毒をできるだけ抑える上でも、銅の導入は当園に最適です」と鎌倉園長は喜ばれている。



蛇口、トイレのドアノブ、キッチンのプッシュプレートなど子どもたちの手が触れる箇所に黄銅製品を導入

ICA(国際銅協会)が(株)カクダイを訪問 銅の殺菌作用を活かす 製品開発のポイントとは?

今回、両園に黄銅製の蛇口を無料提供された(株)カクダイをICAのLouis Koh氏が訪れ、多田修三代取締役副社長と面談。銅製品の開発について意見を交した。



Louis Koh氏(左)と多田修三代取締役副社長(右)

●面談で浮かび上がったポイント

- ・歯を磨いた後などは、洗面台や手洗いシンクにうがい水をそのまま流し放置する。銅を使えば衛生管理に効果的である。
- ・グローバル化が進み、日本でも赤痢が復活したため、衛生環境の強化に脱メッキの商品化を進めたい。
- ・今後は厨房設備も狙い目であるなど。